

すいた 社協だより

2026.9
vol. 139

1面・2面：赤い羽根共同募金
3面：けんりサポートすいた
4面：吹田市社協からの
お知らせ

吹田市社協

検索

発行・編集 / 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 〒564-0072 吹田市出口町19-2(総合福祉会館2階) TEL.06-6339-1205 FAX.06-6170-5800

Thank
You
8 

赤い羽根は
80年!

私も80年!

赤い羽根共同募金運動

運動期間：令和8年10月1日から12月25日まで

赤い羽根共同募金運動は、1947年、戦後の「国民同士の支えあい」から始まった民間の募金運動で、今年で80周年を迎えました。始まった当時は、戦災孤児の救済や福祉施設の復興のために活用されていましたが、現在は、福祉施設・団体の活動支援や災害ボランティア活動等の支援に活用されるなど、社会情勢に合わせて活用方法も変わっています。

これからも赤い羽根共同募金運動を通して、「支えあいの気持ち」を未来につなげていくため、みなさまの変わらないご協力をよろしくお願いいたします。

すいた社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金を活用して発行し、自治会をはじめ地域諸団体の協力を得て配布いただいています。

赤い羽根共同募金はどのように使われるの？

◎大阪府内の福祉施設・福祉団体の活動に助成されています！

こばと保育園では、園児の給食のために使うスチームオーブンの購入費の一部が助成されました。



こばと保育園
木村園長



焼いたり蒸したりできる給食室の大黒柱、「スチームコンベクション」。保育園の給食にとって欠かせないものです。子どもたちに美味しい給食を提供することができて本当に嬉しいです。ありがとうございました。

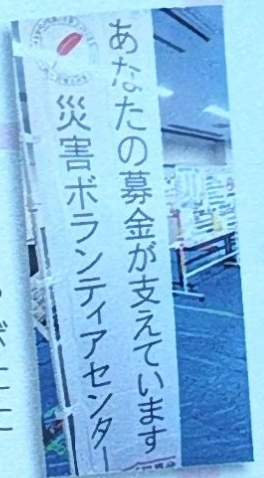
災害等準備金

全国で発生する災害に備え、被災地で活動される団体の支援等に活用されています。



ボランティア活動を支援！

市民向けの研修や広報紙の作成などボランティアを身近に知るきっかけづくりに活用されています。



その他、高齢者・障がい者施設では利用者の送迎車、介助器具の助成にも活用されています。

どんな募金方法があるの？

街頭募金

市内の駅前、スーパー前等で地域のボランティアが募金箱を持って募金活動をされます。



募金箱募金

市内の公共施設や小中学校、福祉施設、お店等に設置のご協力をいただいております。

●街頭募金の
実施予定場所と
募金箱の
設置場所は
こちら▶



PayPayによる募金

キャッシュレスでの募金も可能です。

募金手続きは
こちら▶

※領収書は発行されません。
※自治会実績には反映されません。



バッジ募金

吹田地区募金会(吹田市社協)の窓口で、ご希望の方に1個500円以上のご寄付でお渡ししています。

今年度の
バッジデザイン▶



◎他にも自治会でご協力をいただく「戸別募金」や企業からの「法人募金」などがあります！

●PayPay以外にも
インターネットによる
募金が可能です。

募金手続きはこちら
※領収書の発行も可能です。



共同募金の使い道や募金方法を
短編動画でご紹介！

ぜひ右記二次元コードから
ご覧ください。



わたしの人生は、わたしが決める。主人公は、ワタシ!

認知症や障がいがあっても『意思決定支援』 自分らしく生きるための

誰もが、自分の望む暮らしを自分で選ぶ権利を持っています。しかし、病気や加齢によって、その選択や意思表示が難しくなることがあります。それは特別なことではなく、誰もが直面するかもしれない未来です。そんなとき、本人の代わりに誰かが決めるのではなく、「本人の思いと一緒に引き出し、支えること」を『意思決定支援』と呼びます。



もしも、 自分で決めることが難しくなったら…?

～ 知っておきたいこと ～

これからの暮らし
どうしよう

自分ひとりで決めるのが
不安になってきた



誰でも

例えば重い認知症があったとしても
すべての人に〈思い〉はあるという大前提

聴く

本人の思いにじっくり耳を傾けて
「どうしたい?」本人の視点に立って

いつでも
どこでも

「何食べる?」日常でも
「どこに住む?」人生の岐路でも

● 知っていますか? 「けんりサポートすいた」 ●

■「けんりサポートすいた」って?

認知症や知的・精神障がいにより、判断能力が十分でない方が、自分らしく安心して暮らすことができるようサポートする相談支援機関です。誰もが「ワタシらしい暮らし」ができるまちを目指し、成年後見制度や日常生活自立支援事業など、〈意思決定支援〉をふまえた権利擁護に関する相談をお受けします。

■専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士)による 相談も実施しています。※要予約

専門相談

日時：第2・4金曜日

①午後1時30分から午後3時

②午後3時10分から午後4時40分

場所：吹田市立総合福祉会館

専門職派遣

日時：第2・4火曜日

午後1時から午後5時の内1時間30分以内

場所：吹田市内

吹田市権利擁護・成年後見支援センター けんりサポートすいた

〒564-0072 吹田市出口町19-2(吹田市社会福祉協議会内)

TEL:06-4860-6776

●Email: kensapo@suisyakyo.or.jp

●相談受付：月から金 午前9時から午後5時30分(祝日・年末年始を除く)

HPはこちら▶



吹田市社協からのお知らせ

〒564-0072 吹田市出口町19-2総合福祉会館2階
FAX.....06-6170-5800(共通)
E-mail...suisyaky@ mua.biglobe.ne.jp

- 総務課 TEL06-6339-1205
- 地域福祉課 TEL06-6339-1254
- ボランティアセンター TEL06-6339-1210
- けんりサポートすいた TEL06-4860-6776
- 日常生活自立支援事業担当 TEL06-6339-5700
- くらしサポートセンターすいた TEL06-6384-1350

高齢者の社会参加・生活支援を みんなで考えるシンポジウム

～吹田の高齢者生活支援体制整備事業
10年のふりかえりとこれから～

高齢者の社会参加促進や生活支援の充実を振り返ると共に、今後の取組みについて考えるシンポジウムを開催します。

- ◆日時: 令和8年10月26日(月) 午後2時から午後4時
- ◆場所: 千里市民センター
- ◆問い合わせ: 地域福祉課

9月は「防災月間」 防災や災害支援は 日ごろからのつながりが大切です!

●吹田災害支援ネットワーク

災害時にさまざまな団体と協働して、被災者支援ができるように、お互いの「顔」の見えるゆるやかなつながりづくりを目的に活動しています。

●災害時におけるボランティア支援に関する協定

災害時に協力し合うため、吹田市内の関係諸団体と協定を締結し、平時からの連携を深めています。

子育て支援傾聴ボランティア養成講座

相手に寄り添い、お話を聴く活動です。(5回連続講座)

- ◆日程: 令和8年10月30日(金)、11月5日(木)、12日(木)、19日(木)、27日(金)
- ◆時間: いずれも午前10時10分から正午
- ◆場所: 夢つながり未来館4階 ◆定員: 先着20名
- ◆参加費: 500円
- ◆申し込み期間: 令和8年10月1日(木)から10月23日(金)
- ◆問い合わせ: ボランティアセンター

ボランティアギルド(出張版ボランティア相談)

ボランティアを「やってみたい」「手伝ってほしい」など、予約不要で気軽に相談できる場です。店内にはボランティア情報もたくさん掲載しています。

- ◆日程: 令和8年9月15日(火)、12月15日(火)、令和9年3月16日(火)
- ◆時間: いずれも午後1時30分から午後3時30分
- ◆場所: plant-based café Alle (吹田市朝日町18-11旭通商店街内)
- ◆参加費: 無料(コーヒー、紅茶を無料で提供しています)
- ◆問い合わせ: ボランティアセンター



令和8年熊本地震 災害義援金受付中

吹田市社協の窓口で義援金を受付けています。
お預かりした義援金は熊本県共同募金会を通じて、被災者にお届けします。

令和
7年度

事業報告・決算

- 重層的支援体制整備事業を受託し、コミュニティソーシャルワーカーが個別支援と共に、多世代交流の場づくりの支援や、各地域の生活課題について話し合う意見交換会、生活支援コーディネーターと高齢者の生活課題を検討する地域検討会などを実施しました。
- 不登校の課題に対して当事者団体とともにフォーラムの開催や「フリースペースゆるつな」での居場所運営に取り組み、当事者や家族が社会とつながるきっかけとなる仕組みづくりを行いました。
- 大規模災害の備えや防災意識の向上のため、地区福祉委員会等での防災すごろくの活用や、災害シミュレーション訓練を実施しました。
- 福祉教育では、若者が自ら助けを求める力「受援力」を育むプログラムづくりを多くの団体と協働して取り組みました。

令和7(2025)年度 社会福祉事業会計決算報告(概要) (資金収支計算書より)

収 入	金額(千円)	支 出	金額(千円)
会費収入	10,251	法人運営事業	194,845
寄付金収入	2,465	ボランティア活動推進事業	585
経常経費補助金収入	100,539	小地域ネットワーク事業	26,269
受託金収入	222,364	善意銀行事業	2,500
事業収入	2,035	共同募金配分金事業	4,540
受取利息配当金収入	4,403	日常生活自立支援事業	40,642
その他収入	3,076	生活困窮者自立支援事業	17,410
当期収入計①	345,133	福祉ボランティア基金事業	1,476
		特別貸付債権管理事務事業	24,184
		成年後見制度利用促進事業	28,153
		当期支出計②	340,604

当期収支差額(①-②) 4,529千円

プルタブありがとう!



令和8年7月末現在、約267kg集まりました。
※プルタブ800kgで車いす1台と交換してもらえます。
これまでに11台の車いすと交換してもらいました!

